

米軍オスプレイの墜落について

令和5年12月15日付広資料第162号でお知らせしたこのことについて、防衛省北関東防衛局から、情報提供がありましたので、下記のとおりお知らせします。

また、令和5年12月7日付広資料第154号にてお知らせした資料について、令和6年1月12日時点版の提供がありましたので、別紙のとおり併せてお知らせいたします。

記

○ 情報提供内容

- ・ 本日（1月12日）、米軍オスプレイの搜索・回収活動については、一連の活動を終了しました。
- ・ なお、米側においては、現在、残りの現地連絡所の米軍要員の撤収に向け必要な作業を進めているところです。

○別紙更新箇所

- ・ 概要（全て日本時間）の追記
- ・ 現地における自衛隊及び海上保安庁の対応 2ポツ目～6ポツ目
- ・ 日米の主なやりとり 4ポツ目 日本時間の表記に揃え 12月6日
6ポツ目 12月12日 木原防衛大臣～
- ・ 米側からの説明 12月7日・米軍は、～

鹿児島県屋久島沖における米軍オスプレイの事故について

別紙

概要 (全て日本時間)

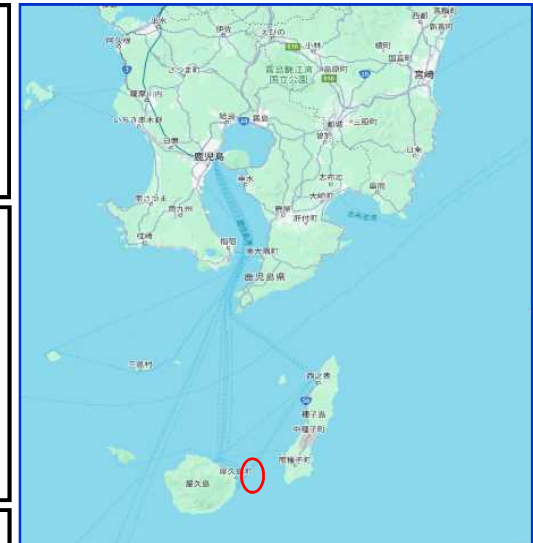
- 令和5年11月29日1440頃
- 鹿児島県屋久島東側の沖合にて、訓練中の米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が墜落
- 12月6日、米軍は乗員8名全員について死亡を認定
- 飛行経路は岩国基地～嘉手納基地

現地における捜索救助・回収活動

- 11月30日 松本防衛大臣政務官が屋久島町長、屋久島漁業組合長、鹿児島県知事を往訪し、お詫び及び事故の説明を実施
- 事故発生直後から米軍による捜索救助活動を実施 (これまで乗員7名を収容)
※自衛隊の捜索活動支援は12月23日に終了。現地調整所は引き続き活動。
- 12月24日 米艦船「サルボア」が現場海域に到着し、捜索回収活動を実施
- 12月28日 回収した機体を米海兵隊岩国基地に搬送
- 本年1月8日 米艦船「サルボア」が現場海域に到着し、引き続き捜索回収活動を実施
- **1月12日 米軍による捜索回収活動を終了**

日米の主なやりとり (全て日本時間)

- 11月30日 大和防衛省地方協力局長⇒ラップ在日米軍司令官
- 11月30日 上川外務大臣⇒エマニュエル駐日米国大使
- 11月30日 木原防衛大臣⇒ラップ在日米軍司令官へ要請
国内に配備されたオスプレイについて、捜索救助活動を除き、飛行にかかる安全が確認されてから、飛行を行うよう要請するとともに早期の情報提供を求めた
- 12月 6日 バイデン大統領及びオースティン国防長官から、乗員の死亡を悼むとともに、日本の海上保安庁、自衛隊、地元の方々による捜索救助活動への支援に謝意を表すメッセージを发出
- 12月 6日 岸田総理⇒バイデン大統領
上川外務大臣⇒プリンケン國務長官及びエマニュエル駐日大使
木原防衛大臣⇒オースティン国防長官及びラップ在日米軍司令官
秋葉国家安全保障局長⇒エマニュエル駐日大使 それぞれ弔意を表す書簡を发出
- 12月12日 木原防衛大臣⇒オースティン国防長官 飛行にかかる安全が確認されてから飛行を行うことを改めて要請、事故の状況や今後の安全対策について情報提供を求めた
- 米側からの説明
12月 1日・CV-22の飛行を行っていない
・日本に配備されている全てのオスプレイは、徹底的かつ慎重な整備と安全点検を行った上で運用
・事故に関する可能な限り詳細な情報を透明性をもって共有
12月 4日・全てのオスプレイの部隊は、CV-22の事故をしっかりと踏まえた上で、安全点検及び予防的な整備を継続的に行っている
12月 7日・米軍は、リスクを軽減するため、オスプレイの保有する全ての軍種において、オスプレイの運用を停止する旨発表
※陸自オスプレイは、事故の状況が明らかになるまでの当面の間、飛行を見合わせることにしている



(出典：米国防総省HP)

全幅	25.8 m
全長	17.4 m
全高	6.73 m
最大離陸重量	約24,000 kg
最大巡航速度	約446 km/h
乗務員+搭乗者数	4名+24名

(出典：米空軍ファクトシート)